



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

晴れ時々曇りの修学旅行2日目。B団の生徒は1日中宮古島で過ごした。内容は農業体験やマリンスポーツなど盛り沢山で、それぞれが充実した宮古島での1日を満喫したようだ。

転慶しそふ...
カヤック

カヤック シー
体験のため宮古島の東部に位置する保良川ビーチへ。
作が難しくカヤック同士が時々ぶつかった。途中でカヤックを降り、水中を観察すると熱帯魚やヤドカリを発見。漕いで約30分で折り返し地点に到着し、浜に上陸して休憩後、保良川ビーチへと引き返した。復路は波が往路より高く、男子の乗るカヤックの転覆が目立った。片付けの後にはみんな疲れたようだったが充実し満足した様子だった。

インスタラクターからの説明を受け、水着に着替え、ライフジャケット等の準備をする。カヤックに乗ろうとすると船が傾き転覆しそうになるが、なんとか乗り込む。カヤックを漕ぐとプカプカゆれる非日常的な感覚。インスタラクターの後ろについてカヤックを漕ぐと、案外操

余った時間、プールで泳いだり遊んだりする者や記念写真を撮る生徒もいた。

宮古島を舞台に体験活動

修学旅行 5
取材日記 10 沖縄



鶏を抱える生徒

農業体験 命のありがたみ

アルバード家ではカボチャの苗植えと鶏の卵取り、餌やりの農業体験をさせていただいた。
カボチャの苗植えは今まで使ったことのない道具や慣れない作業に生徒たちは戸惑った。体験をした生徒は「一番使いやすい道具だと言われたものでもコツがつかめず扱いにくかった。初めて農業体験をしたけどスポーツをするよりしんどいものだった」と話した。
鶏の卵取り、餌やりでは産みだての卵があたたかくて生徒たちは感動していた。鶏が頑張っている卵を私たちは食べているのだなと痛感した。生徒たちは命の有り難みを改めて実感した。
(B団・空)

釣り体験には20人と先生2人が参加し、そのうち15人と先生が2隻の釣り舟にで、青い海へと繰り出した。船に乗らない生徒は防波堤から釣りを楽しんだ。
船がポイントに到着すると慣れない手つきで餌を付け、糸を垂らす。私の乗った船はほとんど「入れ食い」状態で、みな調子良く魚を釣り上げていたが、長くは続かなかった。船酔いが私たちを襲ったのである。
今日の海は波がやや高く、船は立つことができないほど揺れていた。気分良く釣りを楽しんだ生徒も先生もだんだん無口になり、船縁から頭を垂れる。私の船では最終的に私を含む大多数がリタイアした。
なお、釣った魚は民泊先に持ち帰り、夕食のおかずとしておいしくいただいた。
(B団・轍)

魚と勝負



防波堤から釣り糸を垂らす